

福島ロータリークラブ会報

vol. 7

2018.9.6 thu



<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

18-19年度スローガン「融和と進化」

本日の
プログラム

新会員スピーチ

みずほ銀行福島支店 支店長 友田久也 会員

会長あいさつ



2018-19年度会長 浦部 博

今朝突然、北海道で震度7の地震というニュースが飛び込んできました。また、大災害かと本当に心が痛むことが続いております。これから状況が分かってくるにつれて、被害の甚大さが明瞭になってくると思いますが、該当地域の方々には、心からお見舞いを申し上げたいと思います。

一方で昨日までのニュースは、何と言っても台風21号の暴風被害でした。昨今「いままで体験したことのない」という言葉をさかんに聞くようになってきましたが、今回の台風被害もそのひとつで、TV映像等で見る限り、まさに今まで見たことのない光景が繰り広げられたということだと思います。そうした「気候変動」の影響がいよいよ具現化してきたと心から脅威を感じています。(これは、地震とは本質的に違う問題です)

「地球温暖化」の問題に関しては、私は以前から大きな関心を持っておりました。かつてアメリカのゴア元副大統領が警鐘を鳴らし続けた地球環境問題ですが、残念ながら人類はそのターニングポイントを通過してしまった…。これからの世代は、永く苦しい世紀を生きていかなければならなくなるだろうと予測しています。

さて、先週から「会員増強に関するお願い」が始まりました。情報収集のための用紙をお配りしてありますが、ぜひとも参画していただいて、自由な視野で入ってもらいたい人、埋めたい職業分類の人の情報を書いてお寄せ下さい。前回申しましたが、特に女性会員、長くご活躍いただける方の情報を集めましょう。増強委員会・理事会で整理して、適格の方には全力で入会をお勧めしていきます。10月を第一次メットとして、毎週くり返し申し上げますので、ぜひ本気でご協力ください。

もう一つお知らせいたしますが、10/15(月)に台北士林ロータリークラブさんが35名にて来訪されます。

そこで、振替例会として「歓迎晩餐会」を催すこととなりました。福島ロータリークラブ(70周年の記念事業)に大きく関わって頂く予定の台北士林クラブさんですので、クラブとしてもご来訪を上回る人数で歓待の意を表したいと思っております。

ぜひとも、大勢のご参加をお願いいたします。

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 丹治正博 会員

「四つのテスト」唱和 高倉裕行 会員

会長あいさつ 浦部 博 会長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介
福島南ロータリークラブ 横山りつ子 様
米山記念奨学生 ヴォ ティ テュ ハーさん

9月誕生祝い

米山記念奨学金 9月分支給
米山記念奨学生 ヴォ ティ テュ ハーさん

食事

幹事報告 増子 勉 幹事

各委員会報告

■IT戦略・雑誌小委員会報告

*「友」9月号紹介

佐藤康太郎 委員

■プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

山口圭介 委員

■本日のプログラム

閉会点鐘 浦部 博 会長

お知らせ

■本日、17:30より新会員セミナーが開催されます。また18:00より9月理事会が開催されます。関係者の方々は宜しくお願い致します。

■10/13(土) 猪苗代湖水草回収作業、11/24(土) 地区大会の参加案内をFAXしております。出欠返信を宜しく願います。

■9月ロータリーレートは1ドル112円となりますのでお知らせ致します。

新会員スピーチ

みずほ銀行福島支店 支店長
ともだ ひさや
友田 久也 会員



改めまして、みずほ銀行福島支店・支店長の友田でございます。少しでも「私の人となり」をご理解頂き、一人でも多くの方々に声をかけて頂き、本音でお付き合いさせて頂きたいとの思いから、自己紹介を兼ね、①金融界がどのように再編され現在に至っているのか②(一行員の立場から見た)「みずほ銀行」の合併時の状況。

以上2つのテーマを私の銀行員人生を振り返りつつ、話を進めさせて頂きたいと思っております。

“金融再編の動き”については、バブル崩壊後、不良債権問題に苦しみ、銀行の合併・公的資金注入・外資参入・新銀行設立等の動きがあった『1995年(H7)～2015年(H27)の20年史』と言えらると思っております。

私の入行は、1991年(H3)、みずほ統合前、第一勧業銀行の千葉県内の支店に入行。

今年で、銀行員生活27年＝『(金融再編の20年を含む)平成時代30年そのもの』が私の銀行員人生とも云えます。都市銀行を中心とした金融再編の歴史の、ど真ん中です。

日本全国に支店網を巡らし、津々浦々に銀行員を配置している銀行グループは、現在4つ。海外含めた展開となると皆さんご存知の通り、メガバンク3グループ(みずほ・三菱UFJ・三井住友)。以前は、都市銀行13行時代でした。今となっては13行の名前を挙げられる方も少なくなっていると思っております。

- ①第一勧業 ②富士 ③三菱 ④東京 ⑤三和
⑥東海 ⑦三井 ⑧太陽神戸 ⑨住友 ⑩協和
⑪埼玉 ⑫大和 ⑬北海道拓殖

バブル崩壊後、日本の金融界が深刻な危機に陥り、長いトンネルから抜け出せなくなった暗い時代の始まりの象徴的な事件が、1995年(H7年)7月に発覚したりそな銀行の前身の「大和銀行ニューヨーク支店」事件です。証券運用を担当者が、銀行に無断で米国債の簿外取引を継続し、巨額損失を出していることを当時の頭取に告白する書状を送ったことで明るみに出た事件です。

1995年(H7)当時、私は大阪西区・新町支店で、銀行員としては2カ店目の営業の駆け出しです。

大阪西区といえば、半澤直樹の舞台です。あの小説の舞台も正に私の同世代の描写であり、ドラマが話題なる何年も前に小説を読み共感していました。ちなみに、作者・池井戸潤さんは、元三菱銀行の行員です。

当時、関西を地盤とする大和銀行の事件で、関西は大きく揺れ、大和銀行救済の為、住友銀行との合併話が進行したが、吸収合併を心配した大和銀行の取引先や行員による猛反対が発生し、消滅します。

その後、(中部圏)東海銀行と、(協和・埼玉の合併銀行

である)あさひ(首都圏)が全面提携したことで、そこに大和(関西圏)が加わり太平洋ベルト連合で都銀上位行に対抗しようという動きが加速。

結局、この動きも、このグループにあとから加わる三和(関西)が入ることで、あさひとの確執が生まれ空中分解。あさひは、このグループから離脱し、最終的に大和と合併し、りそなグループ。

混沌とする金融業界の中、1997年(H9)11月、三洋証券・山一証券・北海道拓殖銀行が破綻します。

1998年(H10)には、長信銀の日債銀・長銀が経営破綻し、次は興銀かと囁かれていました。

私も当時、銀行で働いている中で、まさか銀行・大手証券会社が破綻するとは想像できないこと。皆さんの価値観も大きく変わった出来事ではなかったでしょうか？

1998年(H10)金融監督庁(現金融庁)が設置され金融行政を政権主導で押し進めていく中、極めて厳しい窮屈感の中で、仕事をしていました。

当時私は、(大阪)新町支店から、神戸支店に転勤しており、不良債権の管理回収業務。いわゆるバブルの後始末です。苦勞した案件等、挙げたら切がありません。

その後、1999年(H11)8月、興銀・第一勧業・富士の三行統合が発表。その2ヵ月後、1999年(H11)10月、住友と(当時合併していた太陽神戸・三井⇒)さくらが合併し、三井住友が誕生。政府主導の大なたが振られ、当時、政府が目指したのは都銀大手行同志の合併を実現し、事態の沈静化を図りたい一新で、経営層へのプレッシャーがかかる中、生き残る為には、何でもあり、どこどこが手を組むのか、社内でも様々な噂話が飛び交い、戦々恐々。

特に、住友と大和の合併話が社内外の反対運動で消滅したように、都銀同志であっても似て非なるものが正直な感覚でした。このバタバタを考えれば、当時のトップの動き方で現在の組合せとは違った組合せも十分に有り得た時代です。

2001年9月、米国同時多発テロが発生。ニューヨーク支店で3行統合の準備を重ねていたみずほグループの20数名の方々が命を亡くした残念な出来事です。

私が所謂“合併”を強く実感したのは2002年(H14)4月。当時の私は、(神戸)本店審査部に転勤。

そこで、3行出身者が職場に入り乱れて仕事をする環境に初めて置かれました。

全国各地の支店からの融資案件を審査するセッションですが、隣席には、旧富士・旧興銀、上司は3行それぞれの人間が入り乱れ、つい数ヶ月前まで、支店の現場で、数々の案件を通して競いあってきた競合都銀のメンバーと机を並べている違和感に当初は中々、ついていけなかったのが実感。

この時期というと、「構造改革」を標榜する小泉純一郎内閣が誕生すると、金融界は更に雲行きが変わりました。経済財政相に就任した竹中平蔵氏によって不良債権処理

が加速されたことは皆さんの記憶にも新しいと思います。首相の信任を得た竹中大臣は専門家による不良債権処理の検討チームを集めて容赦なく銀行の貸出債権を査定し、執拗に適正な引当金を積み増すことを要求し、公的資金注入へとつながっていきました。

この間も再編がくすぶり続け、**2004年(H16)(三和・東海の合併行である)UFJ**が金融庁査定を切っ掛けに、不良債権処理を迫られたことで、メガバンクグループとの再編を目指し、三井住友と三菱東京によるUFJ争奪戦となりました。最終的に三菱東京UFJとなる訳ですが、裏事情では三井住友UFJの合併が有力視されながら、僅か数日の差で経営トップ同志の交渉アポイントが取れなかったことで実現しなかったとも言われています。

2005年(H17)、築地支店勤務。旧富士・第一勧銀の2店舗が統合し150人くらいが在籍した支店。**2007年(H19)8月、サブプライム問題が表面化。2008年(H20)、2度目の関西転勤で、南船場支店へ。**生活拠点を関西に。**2008年(H20)9月、リーマンショック。2009年(H21)3月、バブル崩壊後、株価最安値(7,054円98銭)**を記録。

2010年(H22)12月、リーマンショック後、経済の大幅な収縮の環境下、不況からの自力再建困難な大口融資先の課題解決を銀行と二人三脚で進める審査・渉外機能をもった企業戦略部に年末辞令。**(転勤間もなくの)2011年3月11日東日本大震災。**当時、義援金の受入処理に起因した**システム障害**が発生し、多くのお客さまに多大な迷惑をかけ、都内の支店に応援に駆けつける日々が続いたことも経験。**2013年(H25)、大阪・京阪京橋支店支店長(支店統合による閉店作業を担う)。**2014年(H26)、**大阪寝屋川市・香里支店支店長。**2018年現職。

ここまで聞いて頂きお分かりと思いますが振り返ってみますと、一貫して現場を経験してきている典型的な商業銀行を地で行く現場周りのバンカーです。地域の旧興銀お取引の企業経営者の諸先輩方には物足りないと感じられるかも知れません。ただ、4月に着任し、早5カ月経験し思うことですが、震災後7年経過した福島での役割を考えた時、泥臭い商業銀行としての役割が必要と実感し、私の存在意義があると自負しております。

少し前までの日経新聞「私の履歴書」連載の福島県出身の安齋隆さんが、「金もうけばかりを考えている銀行や企業は経営が悪化すると気付いた。銀行や企業は何のために存在しているのか突き詰めて考え、経営理念という言葉にし、浸透させなければならない」とコメントしています。銀行員生活27年、そして今の立場になってようやく頷けます。

みずほ銀行は県内唯一のメガバンクです。県内4支店(福島支店・会津支店・郡山支店・いわき支店)を配置し、福島支店は、旧3行(興銀・第一勧銀・富士)の統合店舗で、全国421支店の中でも数少ない3行統合店舗です。改めて、合併当初感じた様々の思いを振り返りつつ、未来志向で日々、業務にあたっています。

間もなく平成の時代が終わろうとしています。昨今、職場でも働き方を含め、若手との意識のズレも感じます。先日、新聞記事の就職企業ランキングでメガバンクが上位10社に入らなかったのは13年振りという記事がありました。みずほも前年の8位から26位でした。

様々な業界・業種同様に金融を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。変化の激しかった平成の時代を生きた銀行員として次世代に伝えるべき大事なことは、『**企業や地域経済の本質を自分の目で見極め、何の為に銀行は存在するのかという役割**』をしっかりと教育していく事と考えます。

又、本日も**“金融危機”**という表現を一部使いましたが、どの業界でも**“危機”**と言われるようなことが起りますが、長い目で見た場合、これは危機ではなく**“変化”**と考えるべきと感じます。**その変化にどう対応していくか大切ではないでしょうか。**

本日は私の人となりを少しでもご理解頂けたら幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

■「ロータリーの友」9月号のご紹介

IT戦略・雑誌小委員会 佐藤 康太郎 委員



【注目記事】●横組みP7～P14

特集 **いっしょに笑顔**

国内の子どもの貧困対策・居場所づくり

子どもの貧困化と食品ロスの問題を解決すべく活動する「フードバンク」を運営しているロータリアンの例などがとりあげられています。

【注目記事】●縦組みP4～P8

特集 **包括的こども食堂**

子どもも大人も地域も育つ

子どもの貧困は世帯の貧困、世帯の貧困は地域の貧困であり、貧困は現代社会の矛盾と課題の縮図である。

他者を認め合うこと、支え合うことが、共生社会を実現することになると述べられています。

私のひとこと

今思えば、18才で恋をし、恋に破れ、兵役を志願し19才にて戦場に行き、1年余りで終戦となり、昭和22年に復員、又、大工となりました。

仕事の方は弟達に先を越され、私は営業に廻り現在の建設業になった訳です。



安藤 錬雄 会員

米山記念奨学金 9月分支給



●米山記念奨学生

ヴォ ティ テュ ハーさん

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



●福島南ロータリークラブ

よこやま
横山りつ子 様

●米山記念奨学生

ヴォ ティ テュ ハーさん

9月誕生祝い ~おめでとうございます~



清水 太郎 会員

昭和42年9月2日

高倉 裕行 会員

昭和36年9月3日

菅野 晋 会員

昭和37年9月10日

白岩 康夫 会員

昭和4年9月13日

勢島 昇 会員

昭和22年9月21日

森岡 幸江 会員

昭和35年9月25日

坪井 大雄 会員

昭和34年9月26日

岩城 章 会員

昭和25年9月28日

例会プログラムのご案内

10月15日(月) 18:30 ~ エルティ

【台北士林RC 歓迎夜間例会】

10月18日(木) 18:30 ~ 石林

【お月見夜間例会】

■パーシモンCCにてコンペ開催

10月25日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

【平井義郎ガバナー公式訪問】

古俣 猛 ガバナー補佐

菅野裕一 分区幹事 菅沼 裕 分区幹事

ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 26件 ¥59,000 累計 ¥460,000 [報告] 山口圭介 委員

浦部 博会長

台風21号の被害、今朝の北海道地震の被害者の方々に心からお見舞いを申し上げます。友田会員のスピーチを歓迎して。

中山 興 会員

神様は乗り越えられない試練はお与えにならないと言いますが、それでも北海道での地震や関西の台風被害などには本当に心が痛みます。被災された方の一日も早い立ち上がりを祈っております。

友田 久也 会員

我が家のある関西でまた、自然災害がありました。北海道でも地震がありました。早期の復旧を望みます。本日は、拙いスピーチになると思いますが、少々お付き合いください。

日比野 恒夫 会員

14ヶ月ぶりに例会参加しました。なんか新入会員みたいな感じです。宜しく願い致します。

江波 恒夫 会員

台風21号、北海道地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。

小林 仁一 会員

また大きな災害が発生してしまいました。燃料業界では

先の東日本大震災以降、車両の満タン活動を奨励しています。今回も北海道では給油ラッシュが発生してしまいました。備えよ常に!の心がけで災害に備えてください。

茂田 士郎 会員

戦後数十年も市民に利用されてきた飯坂電車を撤廃することは出来ないでしょう。どうしても飯坂街道を拡張し両側に歩道を確保する、そして、無人踏切を解消するためには、一つの案として飯坂電車を一部高架にすることが考えられます。阿武隈急行は、福島市内では高架にしているのですから。

五阿弥 宏安 会員 安藤 錬雄 会員 幡 研一 会員

友田会員のスピーチを楽しみにしています。

佐藤 康太郎 会員

本日、ロータリーの友をご紹介させていただきます。宜しくお願い致します。

クラブ会員より 森岡幸江/八巻恵一/児玉健夫/後藤浩之/安藤健次郎/佐藤 徹/佐藤英典/坪井大雄/相良元章/丹治正博/丹羽和也/佐藤良智/高倉裕行/今井理基夫/増子 勉